令和6年度 高山市立荘川中学校 学校経営の重点及び自己評価 校長 都竹克彦

方 針 重 点	本の 施	教育 目標	校指	資質・能力		との関わり		本年度新たな 学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評 価 A ~ D	分析と改善点
方針・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む重点・挑戦し続けるたくましさの育成	①深い学びを実感できる授業への挑戦②「なりたい自分」へ向かう個の見届け・一人ひとりの子に居場所をつくる③地域との協働・地域社会への発信④生き生きと働ける学校づくり	自律・協創・共生	❶通いたい学校 ❷通わせたい学校 ❸集いたい学校 ❹勤めたい学校	(1)自分で判断し、自己管理や自己調整しながら目標に向けて取り組(2)人と関わり、価値あるものを一緒に生み出すカ(3)自分や他人を思いやり、相手や地域・社会のために行動するカ	(1)	0	1	確かな学力の育成	学び方の指導(個人、集団)		
						0	1	確かな学力の育成	 教師が評価規準を確認し、子どもが理解して追究する授業の確立 		
						0	1	確かな学力の育成	学習のマイサポーター制の実施		
						0	3	郷土教育の推進	探究のカリキュラムの確立		
						0	2	適応力の向上	なりたい自分と手段を明確するための懇談・価値づけ		
						0	2	適応力の向上	社会情動的スキルの育成に向けた実践		
					t (2)	0	1	確かな学力の育成	PDCAによる授業改善		
						0 9 8	3	郷土教育の推進	ふるさとドリーマーとして地域の方を講師に招聘 総合的な学習での協働的な学び・活動、発信の機会の充実		
						0 9 8	2	適応力の向上	校外の人との関わる機会の位置づけ		
						0	1	確かな学力の育成	考えの根拠や判断理由の言語化、表現の機会の充実		
						0 9 8	3	郷土教育の推進	地域に貢献する活動の位置づけ		
				む カ		0 9 6	2	適応力の向上	社会情動的スキルの育成に向けた実践、異年齢学習の充実		
					教育環境の	0	4	働き方改革の推進	小中連携による業務負担解消 日課・行事の見直しによる業務のスリム化		
						4	4	先進的教育の研修機 会の充実	大学や専門家による先進的教育の指導・研修の機会の充実		
					充実	4	4	働きやすい環境づくり の推進	定期的面談や疲労蓄積度調査などの実施		